

津別町役場庁舎等 建設事業 基本設計が 完成しました



正面（国道側）イメージ図

2月28日、3月26日に開催された町民説明会、3月11日から25日まで実施された基本設計案に対するパブリックコメント、最終となる第10回審議会（3月25日開催）を経て、3月29日、「津別町庁舎等建設事業基本設計説明書」が完成し、4月1日、津別町役場庁舎等建設審議会会長加賀谷雅治氏から佐藤多一町長へ答申書が手渡されました。

- 答申書には、
- 一 実施設計にあたっては、財政面を含め細部にわたり検討委員会等で検討しながら進めてください。
 - 二 実施設計にあたっては、町民に対して進捗状況を周知するとともに、できるかぎり意見を取り入れて進めるよう配慮してください。
 - 三 ハード面の充実に加えて、ソフト面についても利用者の視点に立ったものとなるよう進めてください。
- この付帯意見が付記されました。今後は、基本設計を元に9月末をめどとして、より具体的な設計書にあたる実施設計の整備が進められます。
- 答申書の付帯意見は、この実施設計においても、利用者、町民の視点に立った検討、配慮がなされるよう求める内容となりました。今回は、完成した基本設計の概要についてお知らせします。

ス・議事堂部分を木造とする耐震性と経済性、美観を備えた混構造

- ・外側をRC造としながら外断熱工法により外壁に地場産材を活用、高断熱・高気密、RC部の長寿命化
- ・外壁を日光や風雨風雪から守る深いひさし
- ・自然採光による照明負荷軽減や吹き抜け構造を利用した換気により冷房負荷軽減を行うエコポイド・ハイサイドライトの採用

- 新庁舎の機能的特色
- ・停電時でも暖房を含め72時間稼働可能な非常用電源設備
 - ・防犯カメラ・各種センサー、ICカードによる入室管理などのセキュリティ機能
 - ・議会中継機能
 - ・災害時でも利用可能なトイレ

概算工事費

建築主体工事	10億7600万円
電気設備工事	2億6200万円
機械設備工事	2億5800万円
計	15億9600万円

※消費税等10%含む。
※備品費用は、含んでおりません。

■本記事についての問い合わせ先
津別町庁舎等建設審議会事務局
(役場総務課)
☎76-2151(内線211・238)

《基本設計の概要》

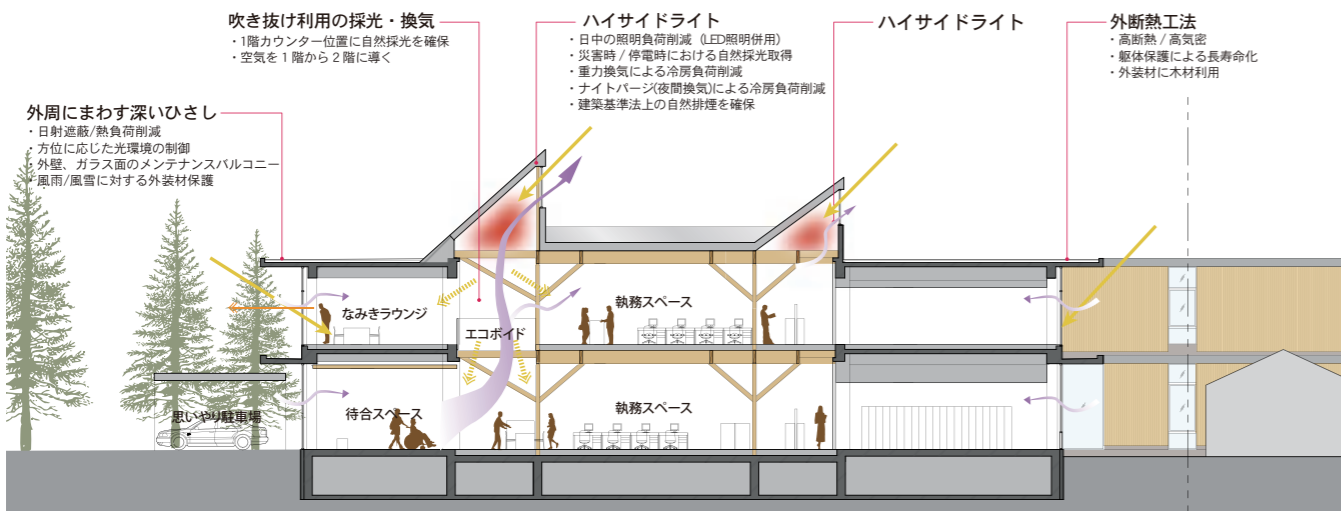
基本方針

基本構想・基本計画で定められた基本コンセプトを引き継ぎ発展させた、次の五つの基本方針を定めました。

- ・利用者の視点に立った快適な庁舎
- ・防災機能に優れた安全安心な庁舎
- ・機能性に優れた持続可能な庁舎
- ・愛林の町つべつを象徴する庁舎
- ・複合化によるメリットを生かした庁舎

新庁舎の構造概要

- 建設地
所在地：字幸町41番地ほか（現庁舎東側職員駐車場）
建設可能範囲：約1900㎡
- 建物の仕様
耐火性能：準耐火建築物
延床面積：3240㎡



(今後のスケジュール)

区分	平成31(令和元)年度			令和2年度				令和3年度				
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
新庁舎実施設計	実施設計											
建設工事			建設工事				供用開始					
現庁舎解体工事						設計			解体工事			



一階イメージ図

- 一階の主な設備
執務スペース、社会福祉協議会、健康福祉センター機能(コミュニティホール、中ホール、相談室など)、障がい者等活動スペース、ボランティア室、栄養指導兼調理室、小・中会議室、相談室、打ち合わせコーナー、防災備蓄倉庫、入浴車保管庫、健診車スペース(屋外)ほか
- 二階の主な設備
執務スペース、小・中・大会議室、議会議事堂、議事事務局、正副議長室、議員控室、監査委員室、町長室、副町長室、応接室、書庫ほか
- 共通設備
エレベーター、オストメイト対応トイレ、公衆WiFiほか
- 新庁舎の構造的特色
外側をRC造、中央執務スペース